



速報版

錦城高等学校新聞委員会 編集室 2020

340号②

ミニフェス二日目開催！ 有終の美を飾る盛り上がりでした。 その様子を速報版でお届けします

色彩あふれる2日間に幕

ミニフェス2日目開催

9月29日(火)「ミニフェス〜Neo style〜」の2日目が開催された。錦城祭の代替行事として開催が決定されたこの行事は、初日に続き大きく盛り上がり幕を閉じた。(編集部共同取材)



ダンス部全員の決めポーズで発表のフィナーレを飾った。ミニフェス2日間を通してたくさんの輝く錦城生の姿が見られた。

ダンス部 距離を開けての着席、歓声の禁止を徹底した上での実演。ブレイクダンスやヒップホップなど、様々なジャンルに分かれた数人のダンスと約



息の合ったダンスで会場を大きく盛り上げる

と動のキレが組み合わせ、パフォーマーと客の手拍子が一体となってステージを作り上げていた。観客の一人は「男子のかわいさ、女子のかわいらしさがダンスによく表れていてすごかったです」と話した。

空手道部

第1体育館にて行われた空手道部による演武会では、1年生と2年生、特別演武棒として3年生女子の演武が行わ

れた。直突や三本連突などの移動基本の型や、平安二段などの型の後に、杉板割や瓦割りなどの大技も披露。静まり返った会場、道着のこすれる音と部員の足音だけが聞こえていた。瓦割りでは、披露したのは瓦5枚を割る正拳、3枚を割る鉄槌、正拳と同じく5枚割る足刀の3種類だ。静かな体育館内に瓦の割れる音が大きく響いた。最後に主将による四方割が披露され、空手ならではの迫力を見せた。

鉄道研究部

視聴覚室Bで鉄道研究部による、本格的なジオラマを作るワークショップが行われた。まず木の板の土台の上に、ポンドを使ってレールを配置する。その後土台に道路を描き、実際の150分の1の大きさの砂利をレールの上に敷き詰め固めた。ポンドで木をくっつけ、緑色の粉やスポンジを使って草むらを再現する。出来上がった作品はそれ



約一時間で完成した作品

ぞれの個性が表れていた。参加した荒居由詠くん(2)は「鉄道研究部の皆さん

が普段行っていることを、今回簡単にだけ体験できたので楽しかったです」と笑顔で語った。

ピアノ同好会



美しい音色をホールに響かせる

ホールで行われた有志ピアノ同好会の演奏会。静寂の中、全部で9つの曲が演奏された。心がリフレッシュされる至福の45分間となった。『If you believe』ショパンエチュード op.10-4』の2曲を演奏した上西富美子さん(3日)は『If you believe』は中学校の卒業式で演奏した思い出の曲なので、今回演奏出来て良かったです」と話す。錦城生へ「ピアノ同好会に入ってくれる人が増えてほしいです」と語った。

茶道同好会

旧校舎6階の和室にて茶道同好会の体験会が行われた。

体験会は、参加者が和菓子の食べ方やお茶の点て方などを茶道部員の説明を受けつつ実践する形となった。体験は終始落ち着いた雰囲気で行われ、参加者は始め、緊張していた様子だったが、部員の優しい対応に、最後には笑顔を見せていた。参加した小澤はるなさん(1D)は「初めてお茶の点て方を学んだので、経験になりました」と話す。島辻愛さん(1D)は「今後も使う大事な作法だと思うので、いい勉強になりました」と語った。

ミニフェス・学年レクリエーションについては、本紙にて開催に至るまでの経緯やその様子などを特集する予定です。乞うご期待！ 新聞委員会編集部